

(別紙4(2))

事業所名 アメニティホーム塩釜

目標達成計画

作成日: 令和 5年 9月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ここ数年コロナ禍で外部との交流も自粛していたので少しずつ関りの機会を取り戻しつつ関係作りを構築していく	再度町内会、近隣の学校や施設とつながりを深くして顔なじみの関係作りを目指す	感染対策は今後も対策しつつ地域の方々に施設でのイベントなど参加してもらったり地域のコミュニティや催しに参加しコミュニケーションを図っていく	12ヶ月
2	3	コロナの影響で自粛開催になっていたことや、ご利用者様が入れ替わり新しいご家族様の運営推進会議への参加が少ない	お手紙やSNSを通じて運営推進会議についてしっかり案内をし、参加していただきより良い運営を目指す	上記同様に運営推進会議にも積極的に参加をして頂けるような議題を設けてご家族はもちろん近隣の方や地域資源にも案内していく	6ヶ月
3	14	同業者との交流が少ないのでイベントや勉強会に参加したりや営業などで交流の機会を増やす	互いの事業所で開催される運営推進会議に参加したり定期的な交流会を開催する	まず近隣の事業所へあいさつなどで訪問し自らイベントなどに足を運ぶようにしていく	6ヶ月
4	35	定番の課題ですが災害のニュースなどを見ていると実際現実になったときに落ち着いて対応できないのではないかと心配になる	知識や訓練を身に着け焦らず適切な対処が出来るようになる	様々な災害やハプニングを想定した研修などを取り入れ勉強や訓練を定期的に行う	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。